

ユニット名	書道部
代表者	中嶋悠人
達成に資するSDGs目標	4 質の高い教育をみんなに 12 つくる責任つかう責任 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
活動概要	①地域の子供たちへの書道の普及(SDGs4) 小学生を対象とした書道教室(8月予定)を開催し、日本の伝統文化である書道について知ってもらう。 ②暴力追放・銃器根絶島根県民大会への参加(SDGs16,17) 暴力追放・銃器根絶島根県民大会(10月予定)で書道パフォーマンスを披露し、島根県警察と共に地域住民の安全意識の向上を図る。 ③中四国国立大学合同演奏会・美術展覧会への出展(SDGs4,17) 中四国国立大学合同演奏会・美術展覧会へ出展し、中・四国国立9大学の音楽・美術に関する課外活動団体と共に書道を含む日本の伝統文化の普及を図る。 ④丁寧な資源の利用(SDGs12) 日ごろから墨や紙などの資源を無駄なく利用する。
主な連携先 (予定を含む)	島根県警察刑事部
成果物の公表予定、 社会への波及効果	書道部は日々の活動、諸団体との協力によりSDGsに即し、以下のように成果物の可視化と波及効果の創出を図る。 ①地域の子供たちへの書道の普及(SDGs4) 川津公民館を利用し地域の小学生に向けた書道教室の開催を予定している。前年度雲南市で開催したはがきの書き方教室での学びを活かし、日本の伝統文化である書道に触れてもらう機会を創出する。 ②暴力追放・銃器根絶島根県民大会への参加(SDGs16,17) 島根県警察が開催する暴力追放・銃器根絶島根県民大会で書道パフォーマンスを披露する。地域住民や島根大学生にとって親しみやすい学生団体である書道部が安全意識の啓発活動を行うことにより、宣伝効果の向上に貢献する。 ③中四国国立大学合同演奏会・美術展覧会への出展(SDGs4,17) 中・四国国立9大学の音楽・美術に関する課外活動団体と共に展覧会を開催することで芸術、文化への関心を高める機会を創出する。 ④丁寧な資源の利用(SDGs12) 書道部の活動時に使用する半紙や墨などの資源を無駄なく活用する。半紙は一度書いたものはふき取り紙として再利用し、墨は必要量だけ使用する。また、資源の丁寧な利用の推進を部員にも促す。これにより不必要な資源の消費を削減する。